



■ 再開のお知らせ

日隈公民館 開館(再開)！

去る5月21日、日田市新型コロナウイルス感染症対策本部会議が開催され、非常事態宣言が解除されたことを受けて5月25日(月)から市内の地区公民館の利用を再開することとなりました。

しかしながら、開館はしましたが利用時間や利用人数などに制限がかかります。収束状況により段階的に感染防止策を講じながら、利用できる範囲を一步步ずつ広げていきますので、利用する皆様にはまだまだ不自由をおかけいたしますがご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。



日隈公民館 これからの利用について ～当分の間～

☆ 利用時間： 平日 午前9時00分～午後5時00分

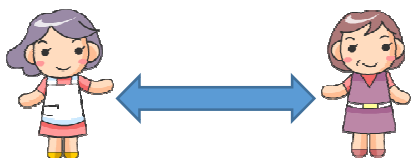
- ・まずは消毒等の徹底できる時間を考慮して平日の昼間の利用となります。
- ・土日祝および夜間の使用はもうしばらくお待ちください。

☆ 利用される方： 検温を行い自らの健康管理を行ってください

- ・マスクは必ず着用してください。
- ・利用の際には氏名、住所、連絡先、体温などの記載が必要となります。

☆ 利用人数： 各部屋の利用人数を制限します

- ◇ 集会室…44人まで ◇ 研修室(和室)…15人まで
- ◇ 学習室…9人まで



- ・ソーシャルディスタンス(社会的距離)をとっていただくために十分に間隔を開けてください。
- ・机等を使用する場合は間隔を開けるため利用できる人数は上記の人数より少なくなります。

☆ 利用できない活動



- ◇ 大声での発声、歌唱等を行うもの(多数での発声含む)
- ◇ 近接した距離での会話等を行うもの
- ◇ 身体接触を伴う練習等を行うもの
- ◇ 用具等の物品を共有して使用するもの



この利用条件は、今後新型コロナウイルス感染拡大防止の3つの密を避けるための手段です。貸館や自主学習教室等で公民館を利用する皆様におかれましては、こうした取組について、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

■ 亀翁山日隈山史

日田盆地の中心にあり、日隈地区の皆様にとってふるさとの大切な場所である日隈山。この日隈山の山頂に日隈神社があることは皆様ご存知のことと思います。一年前の令和元年5月19日、日隈神社創建150年記念祭が開催されました。その際に総代の高瀬忠義氏から「亀翁山日隈山史」として日隈山の歴史をまとめられましたので、再編集し今回の『日隈公民館だより』にて皆様にご紹介いたします。



「亀翁山日隈山史」 高瀬忠義氏（日隈神社創建150年記念祭 令和元年5月19日）

1 日田盆地の曙

(1) 日隈山の誕生

古代日田は、大きな湖の底でした。「この窪地に百漠落ち集いて、洋々たる水をたたえた淡海の如く、その大きさは東西五里、南北十里」と、古書に記されていたそうです。

しかし、27万年前からはじまる阿蘇山の4度の噴火、そして10万年前、雨水の浸食等により一時は湖になっていた地形も西に流れ出た水によって筑後川の流れを生み、日田盆地が生まれました。

湖水が流れ尽くした後、水蝕残る丘を残しました。その一つが日隈山（太郎）、別名亀翁山、亀山です。他は、月隈山（次郎）・星隈山（三郎）と名づけられました。

(2) 「日と鷹」の神話

日田盆地の誕生には、以下の「日と鷹」の神話があり、日隈神社拝殿には扁額が奉納されています。

「地神 第五代鸕鷀草薙不合尊（ウガヤフキアエズノミコト）、末年に至り、大鷹、東より来りて、湖上を飛行し、湖水に羽を浸して羽ばたき、朝陽の暁に和し、忽然として天に昇り、北に向かって飛び去る。

湖水はたちまち鳴動して、大波が起こり逆巻き、崖・岩を洗う。水烟高くして、為に天空闇く、大地を揮い揺るがすこと、雷震の如し。

西南の海岸須叟にして崩れ割け、湖水として漸々に流れて渴し平地となる。」



【 日隈神社拝殿 】

2 神聖な祭祀の場所 隈地区

元治元年(1864年)、日隈山上の老樹の根に絡まって漢鏡「平縁細線式獸帯鏡」が出土しました。この鏡を収めた箱には平野五岳が墨書きをし、大分県の有形文化財に指定されています。このことから、5世紀末～6世紀頃、神聖な祭祀の場所であったことが推定されています。その後、11世紀の中頃、大蔵永興が、先祖の大蔵永弘を祀るために、「亀翁山真光禅寺」を山頂に建立しました。現在でも中ノ島園前の才塚の4坪ほどの土地に歴代住職のお墓が残っています。

■ 亀翁山日隈山史

3 亀翁山(きおうざん) 煩悩に泣く老亀（伝説）

昔、日隈山上には、祠がありました。首より四肢に白点のまだらのみすばらしい衣の老人が、殆ど毎日参拝していました。そこでその老人に問いただすと、「私は下の深い川に住む老いた亀で、長寿を祈願しています。」と答えました。

そこで、その後を追うと、川の近くの藪で見失ってしまいました。そして亀山五石の一つ亀岩（おおがめいわ）の上に衣が残っていました。

日隈山の川下には、たくさん亀がいますが、時々白い亀が混じっていることもあるそうです。亀山町、亀川町といった亀にちなんだ地名はこの伝説に由来するものでしょう。



【亀 岩(おおがめいわ)】

4 日隈城

- 1593年（文禄2年） 太閤蔵入地（直轄地）になる。
- 1594年（文禄3年） 代官宮本長次郎が日隈城を築き支配する。城下に隈町をつくる。
- 1596年（慶長元年） 毛利伊勢守高政が、2万石の大名として城主に任命される。五層の天守閣を設けて、城を整備する。
- 1601年（慶長6年） 毛利伊勢守高政が佐伯藩主に転じ、日隈城は後に廃城となる。

5 日隈神社

明治維新前、後醍醐天皇・楠木正成命2柱は、旧日田郡光岡村（友田村）の「松陽山岳林永昌禅寺」に祀られていました。しかし、明治元年「神仏分離の達し」（太政官）により、日田県知事松方正義（後の内閣総理大臣、大勲位侯爵）が、日隈山に社殿を新営しました。そして、明治3年5月、遷宮し、「日隈神社」と称し祀られるようになりました。神社には明治維新で活躍し、後に袂を分かつ2人の扁額が、拝殿に掲げられています。（2人の扁額の原本は、祇園会館に保存されています。）



「日隈神社」書 西郷 隆盛



「亀翁山」書 大久保利通

6 日隈山の公園化

昭和25年6月 日田市と日隈神社との間で、公園の管理に関する取り決めが成立しました。現在、亀山公園として市民憩いの場所となっています。

ウォーキング等で亀山公園を利用されている皆様。少しだけ山頂まで足を運んで悠久の歴史を感じてみてはいかがでしょうか。



お知らせ

日隈公民館での地区巡回健診について

公民館等での地区巡回健診は、3つの密を避けるため、9月まで巡回健診の実施を見合わせます。

日田検診センターで実施する午後健診を受ける方は、日隈公民館の玄関に検査セットを置いてありますので、必要な方は取りに来てください。



お問合せ：日田市健康保険課（ウェルピア）

TEL 24-3000

日隈公民館ホームページのご紹介



日隈公民館ではホームページにて公民館での事業の様子や地域の話、公民館だよりなどを掲載しています。また、日隈公民館を借りる時の申請書もダウンロードすることができます。ぜひ、一度アクセスしてみませんか。



スマホなら **日隈公民館** で検索！ またはこちらのQRコードから↑↑↑↑↑
ホームページアドレスは <http://www.hita-k.org/hinokuma>

日隈公民館 今後の予定

ようやく昼間の自主学習教室ができるようになりましたが、日隈公民館で本年度計画しています主催事業のSST倶楽部、成人セミナー、高齢者セミナー、料理教室、防災講座等につきましては、まだ開催できる見込みが立っておりません。開催できるようになりましたら、改めて募集・お知らせをいたします。

日隈の高齢化率

全人口：3,952人 65歳以上：1,216人 高齢化率：30.76%

自治会名	全人口	65歳以上	高齢化率
亀川町	872人	216人	24.77%
日ノ隈町	546人	128人	23.44%
中釣町	828人	170人	20.53%
中ノ島町	277人	133人	48.01%
堀田町	325人	108人	33.23%
亀山町	104人	39人	37.50%

自治会名	全人口	65歳以上	高齢化率
本庄町	269人	103人	38.29%
三隈町	125人	59人	47.20%
大和町	211人	87人	41.23%
中央通2丁目	181人	67人	37.02%
中央通3丁目	214人	106人	49.53%

令和2年3月31日 現在